



宿泊客150万人を目指して

「ホスピタリティ（おもてなし）

都市」を宣言



市では、3月29日、日本初の「ホスピタリティ（おもてなし）都市」宣言をしました。（宣言文は下欄）

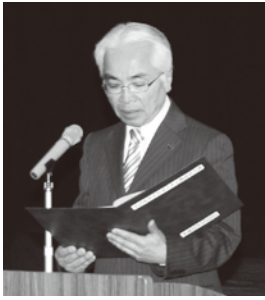
市内では、子ども達を中心にあいさつ運動や、各団体において、いろいろなおもてなし活動などが行われており、これらの活動を引き継ぎ、市民一丸となって、「この地で過ごす心地よさと感じる場所を創ること」、「素敵な思い出創りのお手伝いをする」と、「この地で出会う多くの人に喜んでもらう何かをした」など、それぞれの立場・環境で心に思い行動することにより、楽しい気持ちや感動を与えることができ、この喜びが市民自身の幸せにもつながり、心豊かな笑顔あふれるまちとなります。

このため市は、「ホスピタリティ都市」宣言をしました。

市民参加による観光計画検討委員会にて観光計画を策定

昨年7月に観光計画検討委員会を立ち上げ、下呂市をより魅力的に創出し、結果的に下呂市に訪れる人々を増やし、それらの人々を心からもてなして相互の交流を楽しみ、市の地域経済をより豊かに安定したものにしようと、多くの市民の方に参加していただき、その中でまとめた施策を観光計画として策定しました。

観光計画では、宿泊客に連泊していただくために、5地



▲宣言をする野村市長

域に眠っている観光資源を掘り起こし、5年間でそれらを商品化するための具体的な取り組みなどを掲げています。

また、基礎となる人づくりを強力に進める必要があり、サービスの原点である「おもてなしの心」をもつて、お客様を迎えることが重要です。

そのため、「下呂市を訪れるすべての人をおもてなしの心で迎えるホスピタリティあふれるまちづくり」を基本コンセプトとし、計画における目標は、最盛期に比する「150万人の観光客を誘致する」こととしています。

こうした基本コンセプト・目標を掲げて「下呂に来てよかった、下呂にまた来たい」と評価していただける魅力あふれるオンリーワンのまちづくりを推進していきます。

【観光商工部・観光課】

下呂市「ホスピタリティ都市」宣言
（おもてなしの心）

自然豊かな下呂のまちに
津々浦々から多くの旅人たちが訪れる
「風景」「名泉」「食材」に感激し
伝統文化と市民のふれ合いに
新たな幸せを発見する

市民は明るい笑顔で
「いやし」「くつろぎ」「和み」を創出する
旅人たちは下呂のホスピタリティに歓喜し
ロマンと感動にあふれ
幸せの輪がいっばいに広がる

下呂を訪れた旅人は
旅の思い出を家族や友に熱く語る
それを伝え聞いた仲間たちは下呂を訪れ
守り継がれた自然の恵みに心が洗われ
明日への力が甦る

旅人の笑顔や感動が 心に響き
市民自身も幸せになり 笑顔のあふれるまちになる
これが下呂市の願いです

下呂市は
ここに「ホスピタリティ都市」を宣言します

平成22年3月29日

芸術・スポーツの拠点施設

下呂交流会館が本格運用



3月27日、下呂交流会館「アクティブ」の開館記念式典が開かれました。

開館記念式典では備品等を寄贈いただいた方や、建設関係者へ市長から感謝状が贈られました。この日は、下呂市出身のソプラノ歌手下垣真希さんと地元合唱団によるコンサートや体験コーナー、県立岐阜商業高校によるマーチングなどが行われ、約3千200人の来場者でにぎわいました。



▲開館を祝い、テープカットする関係者ら



▲記念式典であいさつをする野村市長

また、翌28日には、東京フィルハーモニー交響楽団による「こけら落とし公演」が開かれ、音響に優れた泉ホールで満員の観客が一流の演奏を堪能しました。下呂市出身のファゴット奏者の森純一さんも出演し、大きな拍手が贈られました。

下呂交流会館では、2月7日から3月25日までのお試し期間に約2万2千人が利用。芸術文化、スポーツの拠点施設として、4月1日から本格運用が始まりました。

【観光商工部・下呂交流会館】



▲オープニングコンサートで合唱する下垣真希さんと南ひだ少年少女合唱団



▲棚田テラスの多目的室で行われた折り紙体験



◀温アリーナで行われた県立岐阜商業高校吹奏学部マーチングバンド

▼多くの市民でにぎわう屋台村



◀こけら落とし公演で演奏する東京フィルハーモニー交響楽団

新団長に福澤辰之さん

新たに74人が消防団員に



下呂市消防団の入団式が4月4日、下呂交流会館で行われました。

式では、退団した岩佐鋭夫前団長らに市長から感謝状と記念品が贈られたほか、今年度から団長に就任した福澤辰之さんへ辞令書が手渡されました。

また、福澤新団長から昇格者125人と新入団員74人へ辞令書が交付されました。

【消防本部・消防総務課】

●退団者 (87名)

【団本部】▽岩佐鋭夫、千田時秀、細江錬治 【萩原】▽日下部聖晃、青木隆之、奥田昭久、桂川正典、二村登志也、中川直哉、桂川直也、二村辰巳、伊藤保、細江和彦、須沢竜二、小倉幸裕、青木浩一、大坪和幸、日下部敦夫、松森忠雄、大前充良、日置源也、森本健司、今井稔、奥田

一彦、石丸浩士、今井啓仁、熊崎寿道、二村政道、田堀政和、二村大輝、桂川和志、二村懸一、青木達雄(災害支援団員)、小林茂樹(同) 【小坂】▽古瀬眞希、遠渡克巳、奥田鉄也、奥田剛美、中谷孝之、安藤裕文、熊崎誠、岡崎利兵衛、山下祐治 【下呂】▽熊崎徹、細江一義、田口宏、渡邊泰、中田誠、額額嘉樹、松嶋睦、進藤紀之、野中信仁、米野浩之、中島一朗、田口大輔、熊崎靖史、今村克彦、早川健作、鱈坂正己、遠藤満、小野間隼人、二村宏樹、田口大介、野上誠吾、進藤将志 【金山】▽竹腰修、長谷部初司、竹腰正己、長谷和輝、矢島徹也、中島正寛、今井孝幸、福井岳広、小池雅樹、福井隆伸、田口貴也、星屋勤、日下部誠、竹山裕一郎 【馬瀬】▽二村豊、中川範彦、尾里隆文、細江敦、小池隆二、朽洞浩孝、二村能臣、日野修文

●入団者 (74名)

【萩原】▽小林康哲、庄司知憲、塩向孝大、小池裕一朗、齋藤健二、今村勇介、奥田将、熊崎雅俊、二村智也、熊崎龍宏、野村賢司、亀村圭介、熊崎達也、澤田真一、向朋洋、舟坂宏道、赤枝賢、千田友和(災害支援団員) 【小坂】▽荒井克仁、外山貴弘、鈴木孝文、岡部好秀 【下呂】▽西村俊司、川尻祐輔、片野拓朗、齋藤貴之、奥田徹、小峠雅沙史、酒井将希、今井昌邦、竹内敬志、二村勇人、梅田健太、曾我康太、森翔、熊倉諭史、片田優心、熊倉大輔、中島卓哉、熊崎裕、田上雄一、洞奥圭佑、古田和樹、細江拓馬、伊藤正樹、今井一範、細江孝典 【金山】▽矢島智洋、遠渡隆之、池戸琢哉、石神大輔、中村誠一、日下部盛人、中島直樹、星谷佑樹、河尻慎司、山口紘史、林茂樹、池戸伸明、石田貴之、中島秀樹、矢島貴俊、杉山友規、田口智之、藤掛秀規、兼山宜英、金山悠登 【馬瀬】▽大屋圭祐、中本英明、二村祐貴、上田浩史、成瀬正規、二村隼人、大前和徳

平成21年度 岐阜県市町村振興補助金実績報告
住みよいふるさとづくり県が補助金



岐阜県では「日本一住みよいふるさと岐阜県」の実現のため、各市町村が実施する地域づくりを目的とした事業に対して「市町村振興補助金」を交付しています。

また、平成21年度には国の

地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用し「地域づくり事業補助金」も新設されました。平成21年度に下呂市が実施した事業に対する補助金は左表のとおりです。

【経営管理部・財政課】

市町村振興補助金

(単位：千円)

事業名	事業費	うち補助金
下呂温泉まつり負担金	18,600	3,000
馬瀬川花火大会負担金	5,700	2,800
下呂温泉冬花火実行委員会負担金	9,000	4,500
防災行政無線機器整備事業	4,200	2,000
フィルムコミッション事業補助金	15,000	3,000
小坂地域保育園通園バス購入事業	4,687	2,300

地域づくり事業補助金

(単位：千円)

事業名	事業費	うち補助金
小坂の滝めぐり直行バス運行事業	3,990	1,900

4月1日付人事異動 市の職員数 673 人に 合併時から170人減



市では4月1日付で職員人事異動を実施しました。内訳は、部長級22人、

課長級47人など計447人で、新規採用者は14人、退職者(3月31日付)41人です。派遣職員を含めた総職員数は673人で、昨年の4月から29人減となりました。

【総務部・人事課】

退職 (41人) 3月31日付
▽下呂市理事・二村正明▽同・細江森夫▽企画部理事・高木直紀▽健康福祉部理事・二村昭司▽金山病院理事・森千尋▽教育委員会理事・岩佐正彦▽同・酒井昭治▽同兼下呂交流会館開設準備室室長・田口修一▽同参事・二村正▽同市民部市民課課長・大久保潤▽教育委員会子育て支援課課長・今井洋▽同スポーツ課課長・熊崎達也▽小坂振興事務

所小坂振興課課長・大林修▽消防本部消防総務課課長・熊崎明博▽同中消防署署長・河尻正敏▽同南消防署署長・高木和明▽下呂福祉会派遣施設長・熊崎孝之▽同・杉山明男▽飛騨農業共済事務組合派遣課長・田口正男▽市民部市民課・大谷淳子▽観光工部商工課・鈴木敬子▽健康福祉部健康課・名和和子▽同福祉課介護保険室・長尾優子▽同金山健康福祉課・矢島美登里▽消防本部北消防署・二村辰巳▽農林部農務課・中谷孝之▽健康福祉部健康課・亀山美保子▽小坂振興事務所小坂振興課・加藤貢▽教育委員会子育て支援課金山保育園・中島久子▽同・進藤真理子▽金山病院事務課・大前香果▽観光工部観光施設・伊藤藤勝▽健康福祉部小坂老人保健施設・柚原えい子▽教育委員会子育て支援課中原保育園・澤田千恵美▽同教育総務課小坂学校給食センター・池田由美子▽同金山学校給食センター・井上章江▽同萩原北中学校校務員・松下ひろ子▽同竹原中学校校務員・藤井久子▽同中原小学校校務員・藤井和久▽金山病院外科医長・福田賢也▽同看護師・鎌倉きよ子

採用者 (14人) 4月1日付

▽市民部税務課・今井佳苗▽観光工部観光課・小林康哲▽消防本部北消防署・長谷川雄大▽同中消防署・今井義盛▽同・奥村匡博▽同南消防署・田口友輝▽金山振興事務所金山地域振興課・林志帆子▽健康医療部健康課・細江舞▽同小坂老人保健施設看護師・二村順子▽同介護士・長谷川美佐子▽同・坂本奈美▽同・中谷友香▽金山病院外科医員・山田敦子▽同看護師・菊川舞

金山副市長が退任



金山鎮雄副市長が、4月30日付で退任されました。

金山さんは、昭和59年10月から平成7年3月まで、当時の金山町で助役を、同年4月から平成15年4月まで町長を歴任され、平成20年5月から下呂市の副市長に就任されました。金山さんは2年間、下呂市の運営や発展にご尽力されました。

下呂市男女共同参画プラン(第2次)を策定

平成22年度から平成26年度までの5年間の計画期間とする「第二次下呂市男女共同参画プラン」を策定しました。

市民一人ひとりが、個性と能力を発揮して自分らしく生きられる社会「あったか下呂市」を目指して、市民の皆さんと共に男女共同参画社会を進めていきます。

【経営管理部・総合政策課】

教育委員会委員を再任

教育委員会委員に富永京子さん(萩原町萩原)が再任されました。任期は平成22年5月14日から4年間です。

また、教育委員長に細江大嗣さん、職務代理者に尾里隆文さんが就任しました。任期は平成23年3月31日までです。

【教育委員会・教育総務課】

新一年生は267人

市内14の小学校在学児童が入学式が行われ

ました。各校の新入学児童数は次のとおりで、昨年より57人少なくなっています。

▽萩原小・57人▽宮田小・10人▽尾崎小・15人▽小坂小・20人▽湯屋小・5人▽下呂小・52人▽竹原小・29人▽上原小・9人▽中原小・9人▽金山小・18人▽下原小・17人▽菅田小・10人▽東第一小・8人▽馬瀬小・8人

【教育委員会・学校教育課】

市内小学校長を紹介

「中学校」小坂・○細江隆正▽下呂・○細田芳充
「小学校」宮田・◎大澤万里子▽小坂・○山崎達男▽馬瀬・○中島洋祥
(◎は新任、○は転任・敬称略)

【教育委員会・学校教育課】

◆おめでとう

第10回東海ブロック中学生バレーボール新人大会(3/20・21 豊橋市)・準優勝▽下呂中学校女子バレーボール部

短信